

日本共産党 羽曳野市会議員

わたなべ 真千 まち

あなたの声で
実現しました

- ① こども医療費助成を18歳まで拡充
- ② 中学校給食は「選択制」から「全員給食」へ方針転換
- ③ 小・中学校の普通教室にエアコン設置
- ④ 未就学児のいる世帯の国保料軽減
- ⑤ 高齢者を支援する「地域包括センター」設置拡充



羽曳野民報

No.2152 2021年5月1日 発行:日本共産党羽曳野市委員会 連絡先:向野3-8-1 TEL 952-6975 FAX 952-6976
日本共産党羽曳野市委員会は上記の見解を発表しましたのでお知らせします。

あなたの思い聞かせてください

市会議員のわたなべ真千です。この4年間、みなさんからたくさんのご要望やご意見を頂きました。みなさんのお声は、議会や市政を一步一步、前へ動かす大きな力となっています。

私は、地域の身近な議員として、日々の生活の中での不安、子育ての悩みなど様々な思いにしっかり寄り添い、暮らしの中の願いを議会や市政に届けてきました。これからも、市民のみなさまが、いつも希望をもって毎日を過ごすことができるように全力で頑張ります。

働くママ・パパ応援

子育て・教育の負担を軽くするために給食費を無償にしてほしい。いつでも保育園に入れるようにしてほしい。



若者を応援

児童館や体育館やスポーツ広場を増やしてほしい。学費の補助、給付型の奨学金の拡充をしてほしい。



高齢者を応援

気軽にお出かけできるように運賃補助をしてほしい。国保料・介護保険料を下げたい。



子ども達を応援

少人数学級の実現を！楽しくボール遊びできる公園がほしい。みんなで食べる中学校給食を早く実現してほしい。



あなたの
願いにしっかり
お応えします！

わたなべ
真千 まち

日本共産党
羽曳野市会議員

これまでの私…

1957年神戸市生まれ。羽曳野市役所入庁。市立保育園、子育て支援センター、福祉支援課など37年間勤務して退職。羽曳が丘在住。2017年9月羽曳野市会議員初当選。家族/夫、長男、長女、次男(別居)義母。趣味/三味線、オペラ、文楽鑑賞。

小松ひさし
日本共産党
大阪14区
国政対策委員長



「みんなが声をあげれば政治は変わる」体験が広がっています。次の総選挙ではみんなの力で希望あふれる新しい政治を実現させましょう。

コロナ感染症の抑えこみは、大規模PCR検査で！
接待政治・忖度政治を野党連合政権で変えよう！

日本
共産党